

シナリオでは、
 行政の各分野ごとの施策を明らかにしましたが、
 本編では県内を7つの圏域に区分して、
 各圏域ごとの発展方向と主な基盤整備を示しています。

歴史と豊かな自然を生かした地域づくり

有明・鹿本圏

熊本都市圏との都市機能の連携を図りながら、先端技術産業の集積を高め、農林業を中心にして、工業との調和ある発展をめざすとともに、技術交流、物的交流、異文化交流を核とした、アジアランド構想の実現をめざします。

- 先端技術産業の集積と、これを支援する地場企業の育成振興
- 農業基盤整備による施設園芸の一大産地化
- 壮大な広域的レジャー機能を持つ、アジアランド構想の実現
- 菊池川流域に展開する歴史と豊かな自然を生かした地域づくり

海洋リゾートと水産基地で広域的開発

天草圏

水産業を基幹として、他の産業の振興を促進するとともに、大型の宿泊施設や海洋レジャー施設の建設などを核として、広域的海洋リゾート基地としての発展をめざします。

- キリシタン文化遺産、スポーツ、大規模公園、大型宿泊施設を備えた広域海洋リゾート基地づくり
- 沿岸漁業、養殖漁業の振興、流通加工拠点をもつ海洋水産基地づくり
- 温暖な気象条件を生かした多品目生産の農業振興
- 生活用水確保のためのダム建設、広域水道の拡充による快適生活環境づくり

内外に開かれた健康、保養基地づくり

水俣・芦北圏

文化的で明るい地域イメージへ転換を図るため、水俣湾公害防止事業埋立地の有効活用を図るとともに、甘夏みかんを中心として地域経済を活性化させながら、内外に開かれた健康、保養基地としての発展をめざします。

- 花と緑の都市、海浜レクリエーション研修地区づくりによる健康、保養基地の形成
- 甘夏みかんを核とした果樹農業の振興
- 魚場造成、養殖技術の開発及び資源管理型漁業の振興
- 内陸部への企業誘致、既存企業の技術集積による先端技術産業の振興

滞在型の国際的高原リゾート基地へ

阿蘇圏

高冷地を生かした農林業振興を基本に、阿蘇山を中心としながら、自然との調和を図り、大型のレクリエーション施設の建設を核として、各施設が連携した滞在型の国際的高原リゾート基地としての発展をめざします。

- 雄大な阿蘇の自然を活用した滞在型の国際的高原リゾート基地の建設
- 大規模な畜産基地、高冷地野菜産地形成による高原農業振興
- ソフトウェア開発、芸術・工芸など創作活動の拠点づくり
- 温泉を利用した医療、福祉施設の整備を図るリフレッシュパークや木材を活用する個性ある地域づくり
- テクノポリス地域と連携した工業団地の形成
- 森林の多目的活用を軸とした林業振興

世界に開かれた国際交流都市圏の形成

熊本中央圏

本県における産業、経済、教育、文化などの牽引的役割を担う地域として、テクノポリスの母都市圏としての熊本都市圏と、菊池、宇土、上下益城地域とのバランスのとれた発展をめざします。

- 先端技術を中心とする企業の集積と、産・学・官一体となった研究開発拠点の形成
- 世界に開かれた国際交流都市の形成
- 美しい都市景観を持つ快適な都市の形成
- 本県の主要食料基地としての高生産性農業地域の形成
- 多様な資源を活用した観光、レクリエーション基地の形成

県南の拠点都市として調和ある発展を

八代圏

い草を中心とした高生産性農業と工業の調和ある発展を図るとともに、国鉄跡地や新幹線駅周辺などの再開発を核として、県南の拠点都市としての発展をめざします。

- 八代市を県南の中心都市として、都市機能の強化を図る。
- 生産性日本一の農業地域の形成や特産物を生かした農業地域の形成
- 機械、金属製品、ハイテクテクノロジーを主体とした工業地域の形成
- 落人伝説を生かした秘境観光地や温泉、海浜を活用した海洋レジャーゾーンの形成
- 不知火海における資源管理型漁業や沖合養殖業の開発、振興

南九州3県を結ぶ結節拠点都市づくり

人吉・球磨圏

南九州3県の中心部に位置する地理的優位性を生かし、農林業と工業の一体的振興を図るとともに、インターチェンジ周辺の開発を核として、南九州の結節拠点としての発展をめざします。

- インターチェンジ周辺の開発による南九州3県の結節拠点都市づくり
- 地域特性を生かした農業振興と豊富な森林資源を活用する高次加工団地の形成
- 歴史、文化遺産、温泉、渓谷、川下りなど、自然と歴史を生かした観光地形成
- 拠点都市人吉市の都市機能整備や地域特性を生かした地域づくり

